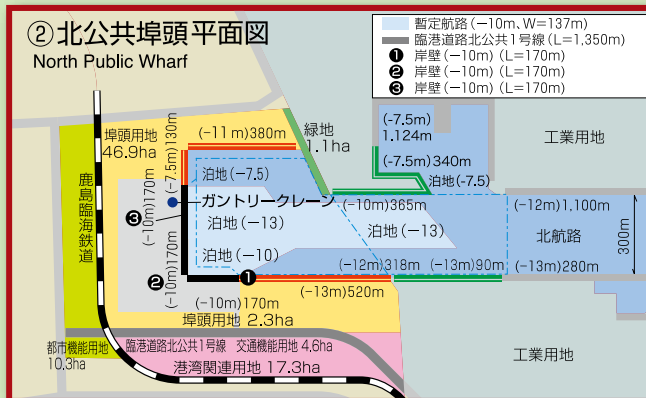


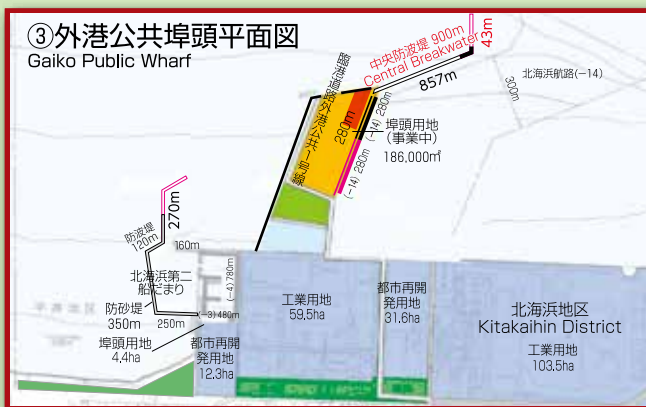
## 臨海工業地帯における工業港をベースに商業港としての機能も強化 より利用しやすい港を目指し、整備が進む公共埠頭

現在鹿島港では、水深10mと7.5mの岸壁を合わせて8バースを備える南公共埠頭に加え、北公共埠頭と外港地区の建設が進められています。北公共埠頭は、2002(平成14年)に水深10mの1バースが完成し、岸壁背後の埠頭用地と合わせて供用開始されました。さらに、2006(平成18)年には、水深10mの3バース目とガントリークレーンが供用開始され、さらに使いやすい港へと整備が進められています。

外港地区においては、2013(平成25)年4月に耐震強化岸壁を備えた新たな公共埠頭として「外港公共埠頭」が供用開始されています。利便性、安全性向上に向けて、防波堤の延伸とともに、航路・泊地の浚渫が進められています。



ドライコンテナ最大蔵置個数 1,484個  
リーファーコンテナ最大蔵置個数 40個  
ガントリークレーン アウトリーチ 29mの横9列対応



### 鹿島港の沿革

- |                  |                                    |
|------------------|------------------------------------|
| 1963 (昭和38)年 11月 | 重要港湾に指定される、起工式                     |
| 1965 (昭和40)年 11月 | 中央航路掘込み開始                          |
| 1968 (昭和43)年 9月  | 南航路浚渫、神之池埋立開始                      |
| 1969 (昭和44)年 6月  | 第1 船入港                             |
| 1969 (昭和44)年 8月  | 関税法に基づく開港となる                       |
| 1969 (昭和44)年 10月 | 検疫法に基づく開港となる                       |
| 1971 (昭和46)年 10月 | 水先法に基づく水先区となる                      |
| 1973 (昭和48)年 8月  | 植物防疫法に基づく指定港となる                    |
| 1975 (昭和50)年 7月  | 港湾運送事業法に基づく指定港となる                  |
| 1975 (昭和50)年 11月 | 南公共埠頭一部供用開始                        |
| 1989 (平成元)年 7月   | 南公共埠頭 -10m岸壁供用開始                   |
| 1990 (平成2)年 6月   | 家畜伝染病予防法に基づく検疫指定港になる               |
| 1992 (平成4)年 2月   | 南公共埠頭多目的クレーン供用開始                   |
| 1992 (平成4)年 6月   | 鹿島港南物流センター完成                       |
| 1993 (平成5)年 8月   | 港湾計画改訂                             |
| 1994 (平成6)年 2月   | 北公共埠頭建設着手                          |
| 1996 (平成8)年 9月   | 東南アジアRORO航路開設(1997年10月航路廃止)        |
| 1997 (平成9)年 10月  | 中国定期コンテナ航路開設(2002年1月航路廃止)          |
| 1999 (平成11)年 2月  | 北航路掘込み開始                           |
| 1999 (平成11)年 4月  | 台湾・香港・東南アジア定期コンテナ航路開設(1999年8月航路廃止) |
| 1999 (平成11)年 10月 | 韓国定期コンテナ航路開設(2000年5月航路廃止)          |
| 2002 (平成14)年 11月 | 北公共埠頭一部(-10m岸壁、1バース目)供用開始          |
| 2004 (平成16)年 8月  | 北公共埠頭一部(-10m岸壁、2バース目)供用開始          |
| 2006 (平成18)年 2月  | 北公共埠頭一部(-10m岸壁、3バース目)供用開始          |
| 2006 (平成18)年 2月  | 北公共埠頭ガントリークレーン供用開始                 |
| 2007 (平成19)年 4月  | 港湾計画改訂                             |
| 2008 (平成20)年 8月  | 定期コンテナ(国際フィーダー)航路開設                |
| 2011 (平成23)年 2月  | 韓国・中国定期コンテナ航路開設(2011年3月航路休止)       |
| 2011 (平成23)年 3月  | 東日本大震災発生                           |
| 2011 (平成23)年 5月  | 国際バルク戦略港湾(穀物)に選定                   |
| 2011 (平成23)年 12月 | 港湾計画一部変更                           |
| 2012 (平成24)年 7月  | 港湾計画一部変更                           |
| 2013 (平成25)年 4月  | 外港公共埠頭一部(-14m岸壁、1バース目)供用開始         |
| 2016 (平成28)年 7月  | 韓国定期コンテナ航路開設                       |
| 2016 (平成28)年 9月  | 定期コンテナ(国際フィーダー)航路開設                |
| 2017 (平成29)年 12月 | 定期コンテナ(国際フィーダー)航路増便                |
| 2019 (令和元)年 10月  | 鹿島港整備関連施設群が土木学会選奨土木遺産に認定           |
| 2019 (令和元)年 11月  | 鹿島港開港50周年記念講演会・祝賀会開催               |
| 2020 (令和2)年 3月   | 港湾計画一部変更                           |
| 2020 (令和2)年 9月   | 海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)に指定      |

